

日本のFUJIをブラジルへ！

世界への挑戦、サポートのお願い

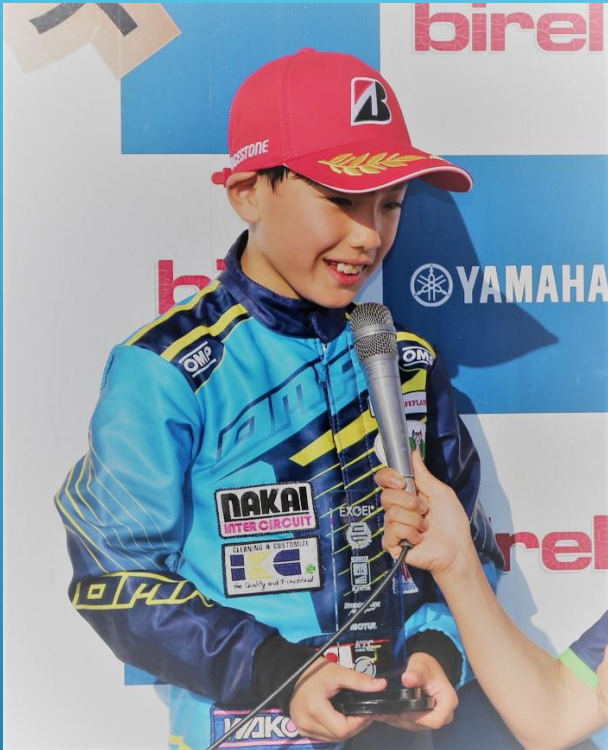


2018年 吉日

マネージメント兼メカニック 岸 良一
レーシングカートドライバー 岸 風児

ドライバー紹介

岸 風児 (FUJI KISHI)



名前の由来は“富士スピードウェイ”。双子の姉の名前は“紗加 (SUZUKA)”。由来は“鈴鹿サーキット”かつてレーシングドライバーを目指した父親と世界の空を飛んでいた母親が世界中どこへ行っても日本人としての誇りをもって、世界の人々の記憶に残るようにという願いを込めて、日本が誇る2大フォーミュラワン開催サーキットの名前をつける。2歳10ヶ月で人生初のレーシングカートを体験。11年少々の人生で、足掛け9年ステアリングを握り続ける。生涯出場レース数は100戦ほどになるが、リタイアはわずかに2回。スムーズで美しい、シェアなドライビングが身上。

彼は生まれ落ちたその瞬間から、世界で戦う宿命を背負ってきました

生年月日：2007年5月17日（紗加・すずか SUZUKA、との双子）

血液型：A+型 身長、体重：138cm、33kg

学校：私立関東学院小学校 5年生（2018年度・11歳）

長所：友人が多い、優しい 短所：短気、だが反省も早い

好きな食べ物：寿司 日々の行動：帰宅後宿題を真っ先に終わらせる

学業：成績は中の上、F1ドライバーになるために自由が利く関東学院を幼稚園入園時より選択して入学

VAI,
RACERS,
VAI!

TICKET

TO THE 19th ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS

Exclusively valid for Mr./Mrs.



© 2018 ROTAX Karting & Co. Ltd. All rights reserved. ® and TM

来たる2018年11月24日～12月1日にかけて ブラジルの“International Karting Circuit Paladino”で開催される“2018 ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS IN BRAZIL”はその年のレーシングカートドライバー世界一を決める、レーシングカートのオリンピックとも呼ばれる伝統と権威あるレースイベントです。この世界的レースに、国内で長きに渡り繰り広げられた激戦を勝ち抜き日本代表として選ばれた、“岸風隼”どこにでもいる普通の小学生が“JAPAN・日の丸”を背負って、同年代の世界60カ国から集まったトップランカーたちと世界一を懸けて戦う。ここでの経験は後の彼のドライバー人生にかけがえのないものとなることでしょう。F1ドライバー・ワールドチャンピオンという目標の実現のための試金石。

ファンタジーの世界を是非とも一緒に旅していただ
けませんか？

2014年、レース2年目でキッズカテゴリーの最メジャークラス、エキスパートクラス参戦開始。

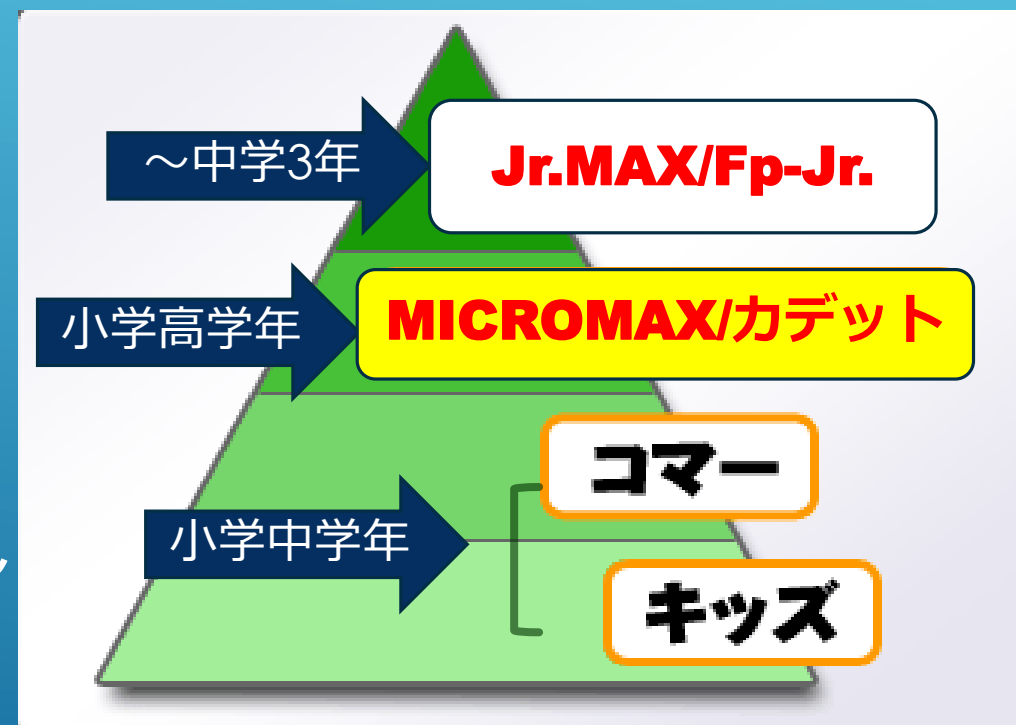
2015年シーズンには各地で開催されるキッズカテゴリーのトップコンテNDERとなる。

2016年シーズン、中井インターサーキットキッズカートレース・エキスパートクラス、フォーミュランド・ラー飯能・エキスパートクラスへ参戦。WAKO'Sカップ、中井シリーズの2シリーズで（中井シリーズ・**歴代最多得点103ポイント獲得**）ダブルチャンピオン達成。

2017年 1ランク上とされるコマー（右図）をスキップし、カデットクラスに参戦。同クラス・JAF（日本自動車連盟）主催・ジュニアカート選手権、及びROTAX MAXシリーズ参戦。ROTAX MAX瑞浪シリーズ・ランキング3位（表彰台3回/5戦中/**新人最上位**）

2018年上記シリーズ継続参戦。APGシリーズチャンピオン・ROTAX MAX JAPANシリーズ3位（3勝）
日本代表に選出される。ブラジル世界大会での活躍を誓う！

～ジュニアカートカテゴリー概要～



ご支援の内容とリターンについて・・・



思いを共にコース・・・ 5000円（サンクスレターと自作“FUJI”ステッカーを進呈致します）

記念パネルコース・・・ 10000円（上記2品に加え、A4フレーム入り写真を進呈致します）

お試し支援コース・・・ 30000円（上記3品に加え、レーシングスーツに広告用小型ワッペンを貼り付けいたします）

サブスポンサー・・・ 100000円（上記4品に加え、レーシングスーツに広告用中型ワッペンを貼り付け、レースレポートを直接お渡しいたします）

メインスポンサー・・・ 300000円（上記6品に加え、レース用ヘルメット並びにレーシングスーツに大型広告用ワッペンを貼り付け致します。またレースレポートを本人より書面並びに直接御報告させていただきます。

フルスポンサー・・・ 1000000円（上記すべての項目に加え、車両並びにレース用ヘルメット及びレーシングスーツを当該レース規定に合致する範囲でご相談の上、最大限イメージに沿ったものをご用意。一目で御社のイメージ活動向上につながるよう調整させていただきます。

なお今回の世界戦に限り、車両の広告スペースの仕様は主催者に依存することから、岸風児の2019シーズン（活動内容は検討中）のレースにおいても御社名の露出があるように調整致します。

参考ページ・・・

<https://www.rotax-kart.com/de/Max-Challenge/Grand-Finals/Grand-Finals-2018/General-information>



サポートのお願い
～参戦車両のイメージ～

<参考資料>



2018年（ランキングは7月現在）	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ROTAX MAX APGシリーズ （最終戦を残しての シリーズチャンピオン決定）			2位		優勝		優勝		優勝			
ROTAXMAX 瑞浪シリーズ （シリーズランキング3位確定）			19位 10位		4位 3位			2位 3位				
東日本ジュニアシリーズ （第5戦以降はブラジル世界戦 準備のため欠場）				リタイ ア		6位	2位	2位				
その他 （スポット参戦も入賞）				4位 茂原								
ROTAX MAX FESTIVAL IN SUZUKA										4位		

2018年シーズン実績
～今期3連勝！
16戦中9戦表彰台～







ご興味、ご関心を頂けましたら下記までご連絡をお願い申し上げます。

〒 232-0063

神奈川県横浜市南区中里1-14-5

岸 風児・良一

TEL 090-3965-9001

E-mail: ryoichikishi@gmail.com

Facebook: 岸 良一

ただいま国内最大級のクラウドファンディングサイト
“READYFOR”にて別枠支援を募集しています！

“ READYFOR FUJI ” で検索をお願いします！

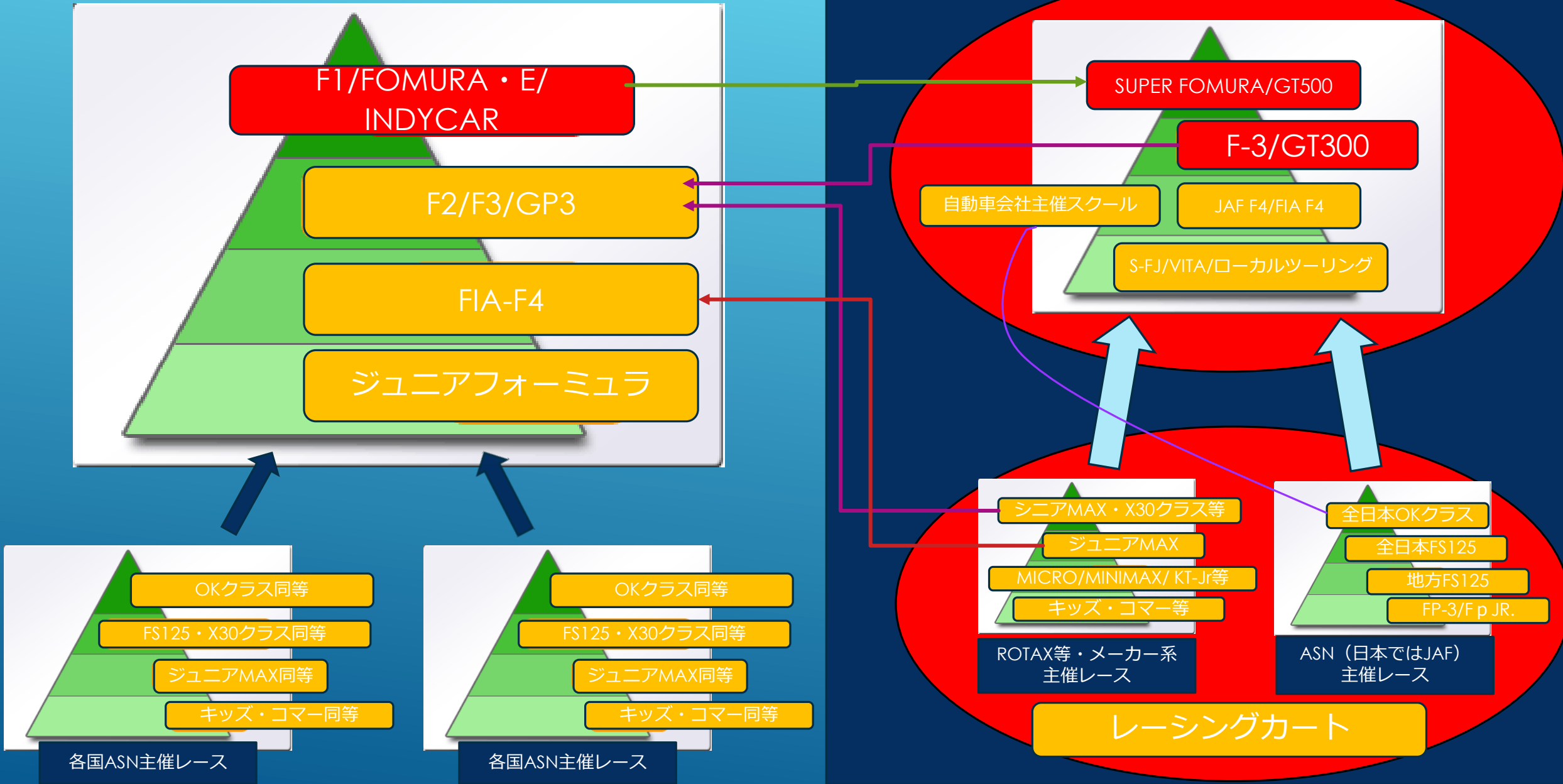
追記資料

どこを目指してゆくのか・・・

世界

～日本と世界のレースカテゴリ概要～

日本



～遥かなるフォーミュラ1～

モーターレーシングの世界は複雑で、世界の頂点であるF1への道のりは遥かなるものです。世界全体から見ると、日本は経済的にも環境的にも、一見恵まれた環境に見えます。が、それはあくまでも日本国内の活動を中心に“プロレーサー”としての地位を確立するための環境に対して、僅かに他国より恵まれているということであり、こと世界の頂点を日本発信で目指してゆこうとすれば、それは永遠に続くかのような棘の道でしかありません。実際には世界のレース・ピラミッドと、日本のレース・ピラミッドは自動車メーカーの存在を除けば殆どリンクすることはなく、別の頂点を持つ山になっているからです。

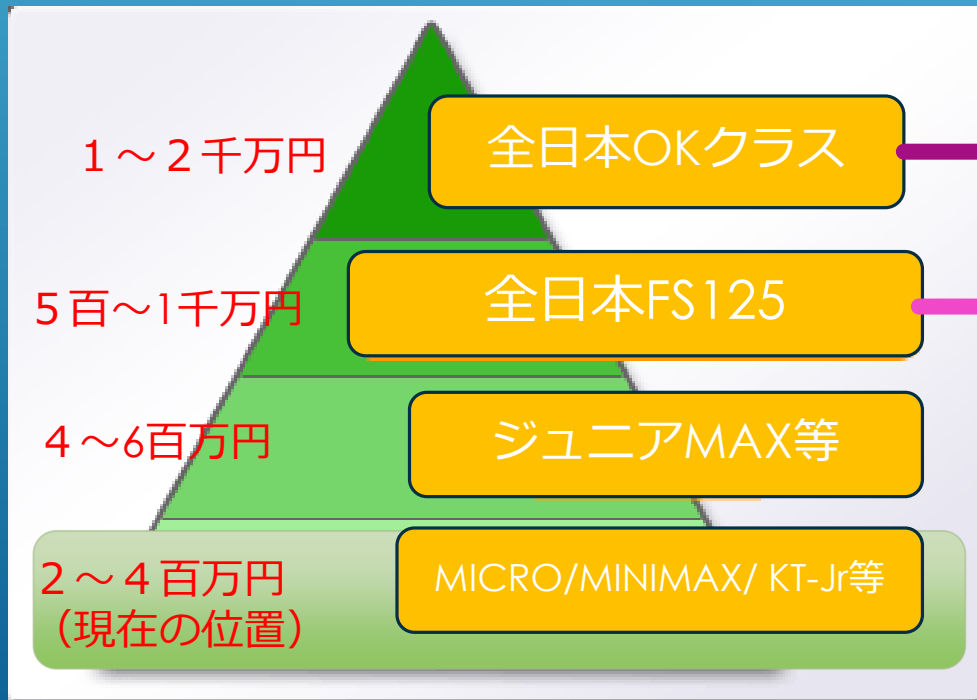
2018年現在、現役のレーサーとして世界に名が知れているのは日本人では佐藤琢磨選手が唯一無二といっても良いのではないのでしょうか？その一番の理由は、恵まれた家庭環境に生まれた彼は、ドライビングの才能に恵まれていたということと言うまでもなく、日本のピラミッドではほぼ無名の存在のまま英国に渡り、F3からF1参戦自動車メーカーであるHONDAの規定路線に乗り、“とにかく先ずはF1にたどり着いた”からだと言えます。そして彼はその後も現在に至るまで継続してHONDAのバックアップを受けながら、日本に帰ることなくヨーロッパからアメリカへ渡りました。従って彼は日本のレーサーの中では突然変異に分類されることが多いのです。佐藤選手の出現から20年余が経った今でも、現状は変わりません。それどころか、1990～2000年代よりも日本経済が勢いを失っている今、さらに困難になったというのが偽らざる真実だと思います。

現在レーシングカート活動を行っている“岸風児”は、クルマを操る技術においては同年代の他者を圧倒しています。ごくごく平均的な家庭に生まれた風児は、ここに至るまでに裕福な御家庭の子息を相手に“明らかに見劣りするマテリアル”と“圧倒的に少ない練習時間”で戦わざるを得ない環境にいます。しかし、過去に参加してきたすべてのレースカテゴリでその大きなハンディを跳ね返して、望みうる最高の結果を出し続けてきたという事実が、彼に与えられた天賦の才の全てを物語っています。そしてこの世界がクルマという道具を使う世界である以上、今よりも先へ進めば進むほどに、この見えない経済の壁をひたすら押し続ける作業を絶え間なく行う必要があるのです。今回の各方面へのご支援の願いはその見えない壁を押し作業の一つとなっています。そして、今後のF1への現実的な選択としては別図の細線にある“自動車会社実施スクール”からの飛び級という、ある種の奇跡を起こす作業、“蜘蛛の糸”をたどって行く作業を現実化する必要があるのです。

一般的なレース・ピラミッドとその年間予算

赤枠はプロカテゴリ・オレンジはアマチュア

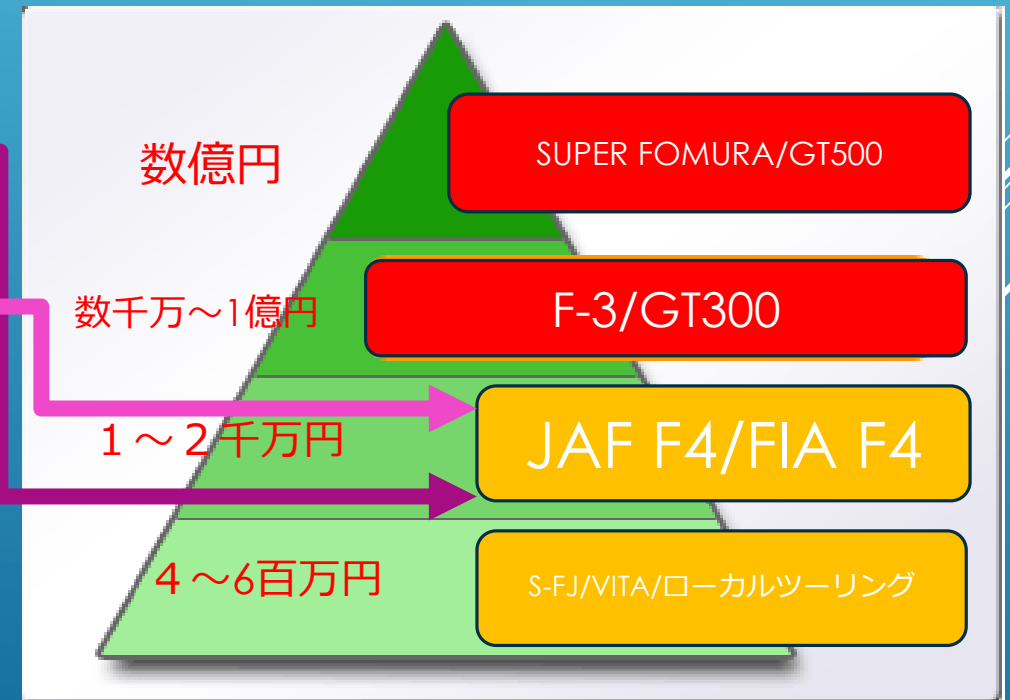
レーシングカート



自動車会社主催
レーシングスクール

~ 4 百万円

日本の4輪レース



若手レーシングドライバーへのスポンサーメリット

アスリート支援としての枠組みでの考察（他のスポーツ支援との比較対象）

1・・・選手生命が極めて長い

プロレーサーとしての選手寿命は、過去には高橋国光選手のように59歳まで現役トップであったレーサーも。1度スターダムに上り詰めればジュニア時代からのサポートを考えると、向こう40年以上もの長期に渡り企業の広告塔として活用にたり得る。長期的にみて費用対効果が極めて高い。

2・・・ドライバー個人の注目度が高い。

野球等のチームスポーツと異なり、選手個人への最小単位でのスポンサードが可能である。これは限られた予算の中で、最大限の露出を勝ち取るという意味において費用対効果が高い。

3・・・露出範囲並びに活動地域の選択範囲が広い。

日本国内に縛られることなく、ドライバーとの相談のうえで海外への露出も図ることが可能。バレーボールやバスケットなどのプロスポーツと比較しても、活動地域は国内でも全国、海外へも露出可能であるにもかかわらず、活動自体はコンパクト。それでもターゲットになる市場は広く、かつ的を絞しやすい。

4・・・ジュニア支援活動として、企業イメージの向上

今回は未だ児童である岸風児の支援となるので、企業のキャラクター・イメージの確立がしやすい環境にある。また、ある意味いわゆる“広告そのもの”という捉えられ方よりも、“青少年のスポーツを応援、若者の挑戦を支える”という共感を勝ち取りやすい。

5・・・ジュニアであるが故、予算もコンパクト

メジャーチームスポーツのサポート費用から考えると、特にジュニアカテゴリということもあり、予算は数十分の一となる。今回のブラジル戦のみに限って言えば、個人様は5千円から法人様においては10万円からの枠組みをご用意。

◆宣伝活動について

サーキット来場層は比較的経済力がある車好きが多く、アクティブな層への露出が見込まれ、またSNS等での繋がりが促されることで、いつでも繰り返しターゲットにリーチすることが可能となります。

◆メディアへの露出と先行投資、節税

選手の着用するレーシングスーツ並びに身に着けるグッズに社名を入れ、宣伝します。レーシングカートはスポーツとして大きく分類すればプロカテゴリーではないため、露出そのものには限界がありますが、今後4輪レースの世界の頂点を目指してゆく有能な選手のキャリアの初めからサポートしているという実績は、将来を見据えた投資と節税の意味合いも含めて考えると、有効な手段と成り得るでしょう。例として、テニスで著名な錦織選手のスポンサーであるUNIQLOは未だ彼が全くの無名（世界挑戦を始める以前）のころから2018年現在まで、長期に渡り継続してサポートを続けています。

◆提供3 トロフィーの貸与・レース写真等の贈呈

レースで勝ち取ったトロフィーを店頭に飾らせていただくことで、レース好きなお客様の注目を集めることが可能です。お名前、社名、ブランド名等が入った車両並びにドライバー等のお写真を贈呈いたします。

～その他、貴方・御社へ提供出来ること～